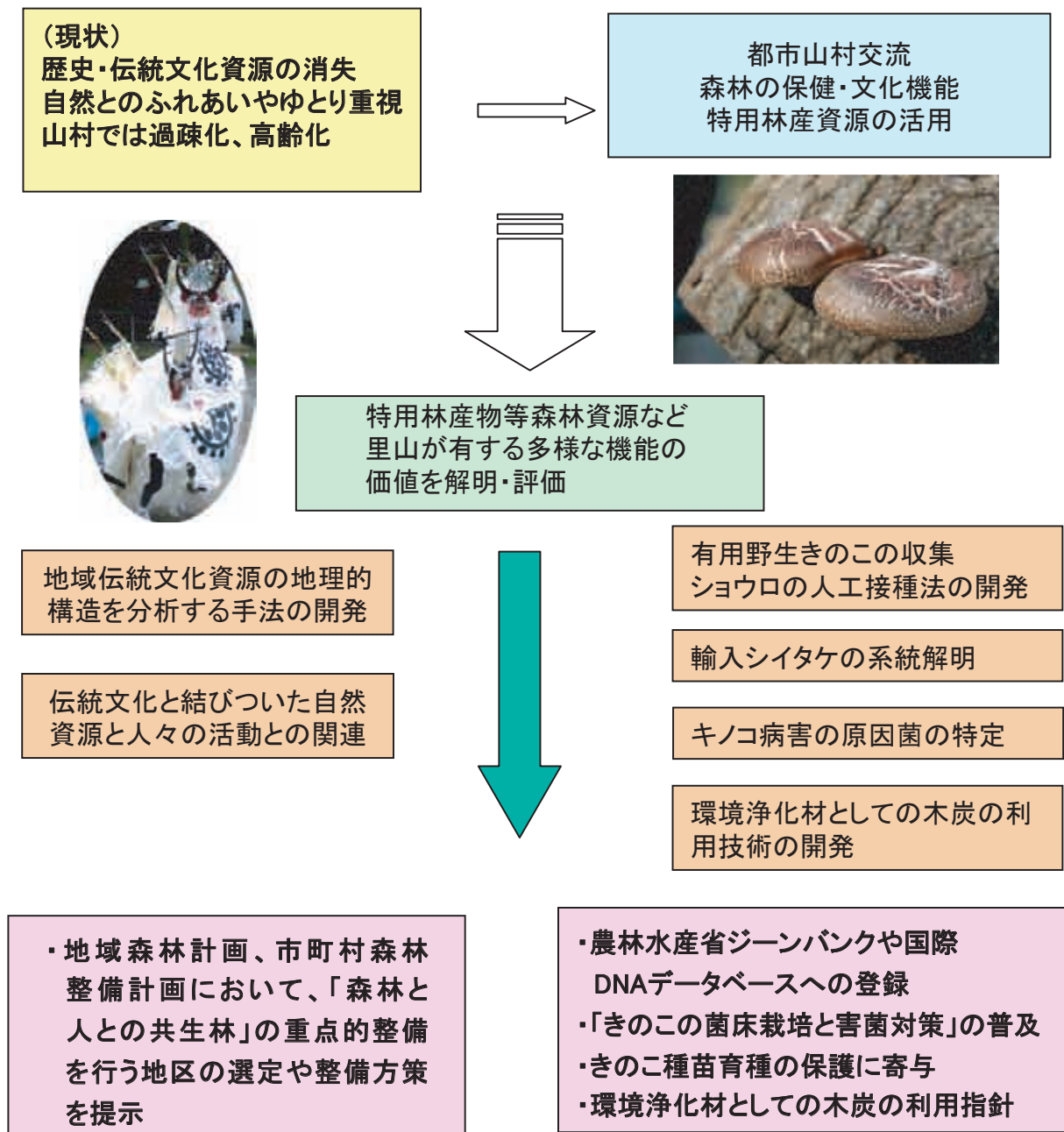


キ分野 森林の新たな利用を推進し山村振興に資する研究 (イ) 伝統文化や地域資源を活用した山村活性化手法の開発

背景と目的

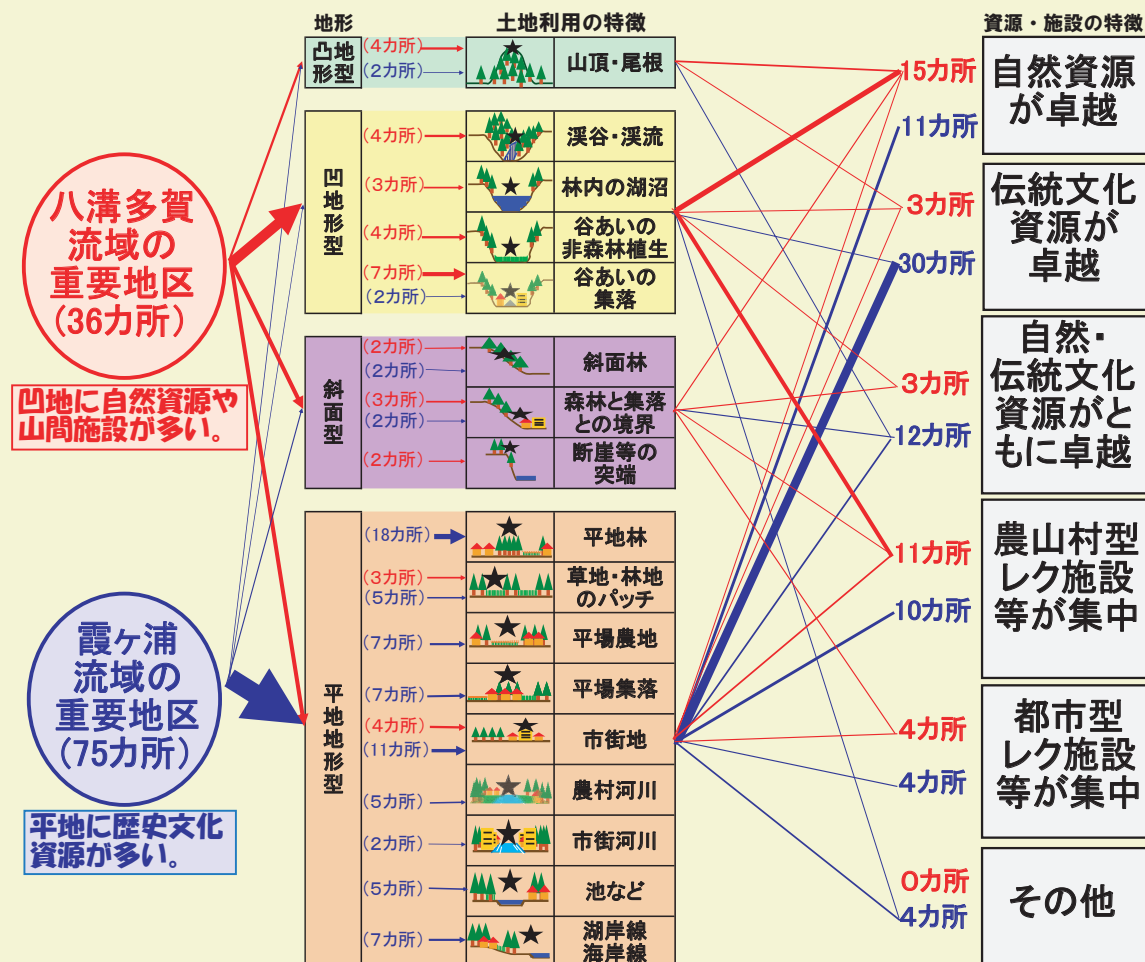
農山村地域では過疎化・高齢化が進行する中、歴史的・文化的資源や伝統文化資源の維持・伝承が困難な状況にあります。このため農山村における歴史・伝統文化資源や巨樹・巨木などの伝統文化と結びついた自然資源と人々の活動との関連の解析をめざしました。また地域資源を活用した地域産業をより一層振興させるため、きのこや木炭生産などの特用林産物の生産促進をめざしました。



平地流域と中山間流域の伝統文化資源の分布構成の違い

より土地利用が進んでいる平地流域の方が、伝統文化資源の環境を保全するために森林管理すべき地区が多く存在します。

平地流域で保全すべき伝統文化資源の内容は、貝塚・古墳などの遺跡資源をはじめ、城址・仏閣などの歴史資源、町並み・集落などの民俗学的な資源まで多様です。



輸入シイタケの系統の解明



輸入シイタケの系統を解明し、輸入シイタケの系統は我が国の古い品種に酷似すること、また乾シイタケの産地判別法として商品中の品種分布、並びに中国産の主系統A (FMC155) の混在率が指標になることを明らかにし、きのこ種苗育成種の保護に寄与しました。

輸入きのこの系統は日本の古い品種に酷似